



長篠・設楽原の戦いの戦いから 450年の古戦場を訪ねて

新城市が実施する戦国への道デジタルスタンプラリーに参加します



開催日 2025（令和7）年11月1日（土）
予備日 11月2日（日）

集合場所 J R新城駅

受付 午前9時 から

ミーティング 午前9時20分 から。コース説明、注意事項、参加者紹介等。

解散 午後3時 頃

協賛金 500円以上当日現地でお支払いください。

昼食 和食「里味」で取る予定です

コース 距離： 35 km 獲得標高： 330 m 初級者向け

主要な通過・立ち寄り場所など

J R新城駅 ⇒ 設楽原歴史資料館 ⇒ 馬防柵 ⇒ 徳川家康本陣地 ⇒ 一筆啓上の地 ⇒ 岡崎信康陣地 ⇒ 織田信忠陣地 ⇒ 織田信雄陣地 ⇒ 織田信長戦地本陣地 ⇒ 織田信長本陣極楽寺跡 ⇒ 織田信長旗本陣 ⇒ 設楽原歴史資料館 ⇒ 名鉄豊川稲荷駅/J R豊川駅・解散

ルート図 <https://ridewithgps.com/routes/52723891>

観光 1575（天正3）年の「長篠・設楽原の戦い」から今年は450年になります。

ポイント 新城市では令和7年8月1日（金）から11月30日（日）まで「戦国への道デジタルスタンプラリー」を実施しています。

今回は織田・徳川連合軍コースをめぐり、デジタルスタンプを集めます。規定のスタンプ数を取得すると、設楽原歴史資料館で武将の缶バッジがもらえます。

コースの内容は、3ページ目をご覧ください。

注意事項 ①人数制限（先着） 7人 （多人数での走行、飲食を避けるため）
②スマートフォンを持参してください。
③歩きやすいシューズで参加してください。
④スタートとゴール地点が異なります。新城駅で解散していただいてもかまいません。

その他 幹事は輪行で行きます。

【参考（往路）】名鉄名古屋 6:58 → 金山 7:03 → 神宮前 7:06 → 8:12 豊川稲荷＝乗換＝J R豊川 8:24 → 8:50 新城

催行の可否 前日午後8時 までに掲示板でご案内します。

出発時に気象に関して警報が発令された場合は無条件で非催行とします。

問い合わせ 探訪担当 松下康英

緊急連絡 090-5101-8466



SHARE THE ROAD

「道路は譲り合って走りましょう」

申し込みは次ページ

申し込みページ

下記参加資格、コロナ対応を理解、承諾の上申し込み願います

→ 参加資格を承諾して「[参加申込](#)」します。

終了後、感想などを記入していただくと担当者の張り合いになります。

→ 「[思い出](#)」をクリックして書き込んでください。

終了後、探訪中に撮った写真・動画をアルバムに追加し、みんなで振り返りましょう

→ 「[アルバム](#)」をクリックして閲覧、写真追加ください。

参加資格

- ① 参加資格の内容を確認の上、参加資格承諾書の記入をしてください。
- ② 自己の責任においてサイクリングできる方（未成年は保護者の引率が必要です）。
- ③ ヘルメット、グローブの着用は必須です。
- ④ 自転車は十分な整備をして参加してください。
- ⑤ 運転技術以上のスピード走行は慎んでください。
- ⑥ 集団の流れにとらわれず各自で交通ルールを遵守してください。
- ⑦ 走行中、停止中を問わず車道では一列縦列を守ってください。
- ⑧ 危険回避は各自で行ってください。
- ⑨ 走行中は手信号で走行意思・注意を伝達してください。
- ⑩ 道路上での走行グループは5名程度とし、グループ間隔は10m程度以上開けてください。
- ⑪ 万が一、死亡・傷害その他事故損害が発生した場合の補償については参加者個人の責任において処理し、企画担当者および愛知県サイクリング協会の責任を一切問わないことに同意願います。
- ⑫ 企画担当者が必ずしも全てをサポートできないこともあります。各自で注意してください。
- ⑬ 参加者が多い場合は企画担当者をサポートできる方にサブリーダーをお願いすることがあります。
- ⑭ 前にコースを確認しておいてください。
- ⑮ 記入いただいた住所、氏名など参加者個人に関わる情報（個人情報）は、愛知サイクリング協会にて管理し、法令の定める場合、保険会社への連絡、協会からの各種ご案内に使うことがあります。参加者の許可なく第三者への提供や他の目的に使用しません。
- ⑯ 集合写真、スナップ写真など掲示板・FBに掲載する場合がありますので了解願います。

コロナ対応

次の項目のいずれかに該当する方は参加を控えてください。

- ① 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）が陽性者との接触を表示した場合。
- ② 体調が良くない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
- ③ 同居の家族や身近な知人に感染を疑われている方がいる場合
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※参加者にコロナ感染者が発生した場合は、保険用の参加者リストを保健所に提出します。

コースの内容

家康・信長 覇道への躍進の道

スタート 設楽原歴史資料館

受付窓口にてスマホでQRコードを読み取ります。

次の各史跡スポットへ行き、スタンプエリア内（GPS判定）へ入るとデジタルスタンプが押せます。

① 馬防柵（ばぼうさく）

「馬防柵」は戦国時代に最強と恐れられていた武田の騎馬軍団に対抗するために信長が考えた作戦とされています。信長が連吾川のすぐ手前に馬防柵を築いたことは、設楽原に一つの巨大なお城を築いたと同じ意味がありました。連合軍は攻めてくる武田の騎馬隊を鉄砲で迎え撃ったのです。

② 徳川家康本陣地

決戦の際に弾正山（だんじょうやま）に構えた徳川家康本陣跡です。

③ 一筆啓上の地

徳川家康の家臣・本多重次が陣中から妻に送った「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ」は、日本一短い手紙と知られています。この手紙は東郷中学校の平成の馬防柵のある辺りから、天正3年（1575年）5月に送られたものだといわれています。

④ 岡崎信康陣地

岡崎信康は徳川家康の嫡男（ちゃくなん、正妻が産んだ最初の男子）で、17才で設楽原の戦いに参戦し、石川数正や平岩親吉と共に松尾神社に布陣しました。

⑤ 織田信忠陣地

織田信忠（19歳）は織田信長の嫡男で、信長が本陣を置いた茶臼山の南側に陣を構えまし

⑥ 織田信雄（のぶかつ）陣地

織田信長の二男で北畠家を継いだ北畠信雄（18歳）は、現在特別養護老人ホームが建っている高台に本陣を置きました。織田・徳川連合軍の最後尾の位置となります。

⑦ 織田信長戦地本陣地

織田信長は設楽原の決戦に備え、上平井の極楽寺から茶臼山に本陣を移し指揮をとりました。全国でも珍しい信長が心境を詠んだ歌碑があります。

「きつねなく 声もうれしくきこゆなり 松風清き 茶臼山かね」

※茶臼山へは、自転車を押して坂道を上ります。

⑧ 織田信長本陣極楽寺跡

平井神社東方約100mの場所にある信長が長篠合戦の折、最初の本陣とした「極楽寺」跡です。この戦いによりお宮もお寺も焼失しました。

⑨ 織田信長旗本陣

信長が旗本陣として「信長ここにあり」と幟旗や旗指物を林立させた場所です。平井神社の清め水の奥に「織田信長旗本陣跡」の石碑があります。

ゴール 設楽原歴史資料館

受付窓口でオリジナル武将缶バッチ（2個）と交換してもらいます。

織田信長、徳川家康、武田勝頼など6種類あります。

補足

① 急坂が何か所かあります。幹事は脚力が衰えていますので、自転車を押して上ります。ご了承ください。脚力のある方はヒルクライムしてください。

② 帰路、時間があれば国道151号沿いに近い野田城跡に寄りたいと思います。